

令和6年度  
竜王町行政執行方針

竜 王 町



# 令和6年度竜王町行政執行方針

## <はじめに>

本日、ここに令和6年竜王町議会第1回定例会の開会に当たりまして、新しい年度に向けた町政の執行についてその方針を申し述べます。

まず、我が国の経済は、コロナ禍の3年間を乗り越え、改善しつつあり、30年振りとなる高水準の賃上げなど、経済には前向きな動きが見られ、デフレから脱却し、経済の新たなステージに移行する千載一遇のチャンスを迎えています。賃金上昇は輸入価格の上昇を起点とする物価上昇に追いついておらず、個人消費や設備投資は依然として力強さを欠いており、これを放置すれば再びデフレに戻るリスクがあります。

経済財政運営に当たっては、総合経済対策を着実に実行し、物価高対策とともに、国民の可処分所得を下支えするための対策を講じることにより、最優先課題である経済の再生に取り組むとともに、民間需要主導の持続的な成長とデフレからの脱却、「成長と分配の好循環」の実現を目指すとしています。

具体的には、持続的で構造的な賃上げの実現に向け、中小企業等の価格転嫁の円滑化、リ・スキリングによる能力向上の支援など、三位一体の労働市場改革等に取り組みつつ、科学技術・イノベーション、グリーントランスフォーメーション（GX）、デジタルトランスフォーメーション（DX）、スタートアップといった潜在成長率を高めるための国内投資の拡大を促進するとともに、防災・減災・国土強靱化、防衛力の抜本的強化、経済安全保障の推進、食料安全保障およびエネルギー安全保障の強化などの取組を推進するとされています。

本町の令和5年度決算といたしましては、歳入は、町税収入のうち、町民税は当初予算から減少を見込むものの、固定資産税は滋賀竜王工業団地における操業開始等による増加を見込んでおり、全体としては増加する見込みです。歳出は、国の施策としまして、新型コロナウイルス感染症対策のため、集団接種によるワクチン接種を推進するとともに、経済対策として住民税非課税世帯等および低所得の子育て世帯に対する支援を行いました。あわせて、町独自施策

としまして、国の地方創生臨時交付金を活用し、保護者へ負担を転嫁させないための学校給食事業特別会計への支援、割引クーポン事業ならびに医療機関および保育所の物価高騰に対する支援を行いました。

また、活力あふれるまちづくりとして、竜王町コンパクトシティ化構想における中心核整備として事業用地の取得、竜王小学校建設基本設計・実施設計を行いました。これ以外にも、魅力ある農業の推進、チョイソコりゅうおうの運行、シティプロモーション、若者も暮らしたくなる定住のための住まい助成および新たな企業誘致に向けた取組を行いました。

安心して暮らせるまちづくりとしましては、小中学生の医療費無償化を継続し、就学前までの児童を対象とした誕生祝、総合運動公園内芝生広場拡張工事、農業用ため池の耐震調査、環境基本計画および地球温暖化対策実行計画の策定ならびにバイオマス資源の活用に向けた取組を行いました。

みんなで進めるまちづくりとしましては、ふるさと竜王夏まつりおよび第40回記念文化祭を開催しつつ、地域コミュニティ維持・活性化の取組を行いました。また、住民健診WEB予約システムならびに議会タブレット端末およびペーパーレス会議システムを導入し、DXの取組を進めています。

## <当初予算概要>

令和6年度当初予算案については、これまでのまちづくりの取組および重点施策プロジェクトの取組を継続しつつ、『活力と安心、新時代に希望かなえるまちづくり』とテーマを掲げ、「明るく元気で活力あふれる強いまち竜王町」、「次世代に誇れるまち竜王町」を柱とし、第六次竜王町総合計画で定めた10年後のあるべき姿「若者も暮らしたい 希望かなえる 輝竜の郷 ～心弾む新時代へのチャレンジ～」の実現に向けた施策に対し予算を重点配分しています。

町税は、令和5年度当初予算から減少になる見込みですが、財政規律を守りながらもこれまでに積み立てた基金等の財源を最大限活用し、特に、竜王小学校の建設、小中学校の給食費の無償化を行う等「こども」を中心とした施策を実施することから「未来へつなぐ次世代への投資予算」としまして、一般会計

の歳入歳出予算総額を91億円、対前年度28.0%の増としております。

これまでのまちづくりの取組および重点施策プロジェクトの取組を継続しつつ、第六次竜王町総合計画の基本施策である『豊かさ』『やさしさ』『つながり』の3分野の重点プロジェクトを推し進めることで将来像の実現をめざしていきます。

## <重点施策>

主な重点施策について、第六次竜王町総合計画の3分野の基本施策に沿って説明します。

### 【活力あふれるまちづくり ～発展・進化を生み出す豊かさの創造～】

本町の地理的優位性や産業構造などの特徴を生かしてまちをより便利に、そして活性化することで魅力を発信していく取組に関する分野です。

まず、竜王町コンパクトシティ化構想における中心核整備事業として、竜王小学校建設工事を行うとともに、交流・文教ゾーンの造成工事および道路工事ならびに公園および学童保育所の実施設計を行います。

次に、魅力ある地域農業の持続的な発展を目指す事業として、令和5年度に引き続き農業基盤整備に向けた効果予測およびマーケティング調査を行います。また、本町の魅力ある農業を推進するために必要な支援を行います。加えて、バイオマス資源の地域内循環を実現するためにバイオマスボイラーの導入等を行います。

次に、道路ネットワークの強化と地域交通の充実をめざす事業として、新たな道路開通に係る現地調査を行う一方で、既存の橋梁の安全確保のために橋梁点検調査を行います。また、幹線交通および地域内交通の維持・確保に取り組みます。

次に、選ばれるまちの実現に向けた魅力発信をめざす事業として、定住人口獲得のために町の魅力を内外に発信するシティプロモーションを引き続き行います。また、若者定住のための住まい助成を継続し、転入した子育て世帯に対して町独自に給付金を給付します。あわせて、新婚夫婦の新生活を応援するために、住宅費用等に対して助成を行います。ふるさと納税につきましては、更なる寄附をいただけるよう鋭意取り組みます。

## 【安心して暮らせるまちづくり ～次世代に引き継げるやさしさの創造～】

快適かつ安全な環境の中で、誰もが生涯にわたって健やかに安心して暮らせるまちを創出していく取組に関する分野です。

こどもまんなか社会と地域共生社会の構築をめざす事業として、子育て世帯の経済的支援のため小中学校の給食費の無償化を行います。また、すべての妊婦・子育て世帯が安心して出産子育てができる環境整備を進めるとともに、小中学生の医療費無償化を継続し、新たに高校生世代まで助成を拡充します。さらに、各世帯が抱える複合的な困りごとに対して、関係機関・地域住民が連携して解決できるよう包括的な総合相談や地域づくりを推進します。その他には、新たに带状疱疹予防接種に係る費用を助成します。

次に、子どもの生き抜く力を育む魅力ある学校・園づくりとして、「確かな学力」を育む学校教育を推進します。また、教職員が子どもと向き合う時間を確保することに加えて、部活動指導員等の配置や増員により支援体制の充実を図ります。

次に、「する・みる・ささえる」豊かなスポーツライフをめざす事業として、国民スポーツ大会に向けた競技施設の設営準備および機運醸成に係る取組を行います。また、誰もが健康に年を重ねることができるよう河川敷にグラウンドゴルフ場を整備します。

次に、地域防災力の向上と交通安全対策を推進する事業として、農業用ため池の災害リスク軽減に係る取組を行います。また、消防施設の整備を行うとともに、消防装備の充実を図ります。加えて、交通安全意識の向上を図るための支援を行います。

## 【みんなで進めるまちづくり ～新たな時代に対応したつながりの創造～】

まちづくりを効果的に進めるためのしくみづくりに関する分野です。

ワンストップサービスの推進と地域コミュニティの活性化をめざす事業として、総合庁舎1階事務室等改修工事により来庁者にとって利便性の高い環境を整備します。また、地域コミュニティの維持・活性化の取組も行います。

## <最後に>

方針の説明につきましては、第六次竜王町総合計画に沿った形とさせていただきましたが、予算編成に当たりましては、本町が過去から積み上げてきた実績を踏まえつつ、これまでのまちづくりの取組および重点施策プロジェクトの取組も継続していきます。

この方針の下、各事業の目的を見定め、明るく元気なまちづくりに向けて取り組むとともに、令和7年の町制70周年に向けて積極的に挑戦し続けます。

町民皆様の声を真摯に受けとめ、町政発展のため尽力してまいりますので、議員皆様方の格段の御指導・御協力をはじめ、町民皆様方のより一層の御理解・御支援を賜りますようお願い申し上げます、令和6年度に当たっての行政執行方針といたします。